

アルクトス ARCTOS

Vol. 30

BUNRI UNIVERSITY OF HOSPITALITY
西武文理大学 大学広報誌

創立20周年特集

～西武文理大学の『これまで』と『これから』～



「Arctos」とは、ギリシャ語で「熊・北斗七星」という意味があります。

2019年4月で開学20周年を迎えた西武文理大学。学生と共に育った本学が社会に果たした役割を振り返る。



その後の記念祝賀会では、狭山市の小谷野剛市長からあたたかいお祝いのお言葉をいただきました。そして元衆議院議員・内閣官房副長官の大野松茂様から乾杯の首領をいただき、西武文理大学のなおいっそうの発展を願いました。

記念式典では、学校法人文理佐藤学園創立者の佐藤英樹理事長が、西武文理大学建学の精神と現在に至るまでの歩みを語られました。ご来賓の方々からも祝辞を頂き、学園の伝統であるホスピタリティ精神に基づいた「オアンス運動」(おはようございます・ありがとうございます・すみません)の頭文字をとった挨拶の運動を、参加者の学生を中心に披露しました。

成で貢献すると述べられました。それには産官学での地域連携が重要であると語り、「デジタル埼玉2030」の構想の実現に向けて、意欲を示されました。

「AI、人、地域連携と未来社会」をテーマに、産官学から埼玉県の奥野立副知事、西武文理大学の小尾敏夫学長、NTT東日本の矢野信二副社長の3名の方にパネリストとしてご登壇いただき、少子高齢化が進むこれからの日本が、AIをどのように活用し、普及していくべきかなどについてご討議いただきました。今後社会で活躍する学生たちにとって、とても有意義な時間となりました。小尾学長は、「医療健康福祉」「移動・モビリティ」「安全・防災」「教育」における改革の必要性について語り、AIをスマート社会づくりに活用していく為にも、西武文理大学として人材育

二〇一九年九月十八日、西武文理大学創立20周年記念式典が川越プリンスホテルにて執り行われました。当日はご来賓の方々をはじめとした、600名近くの方に臨席いただき、盛会裏に終える事ができました。



大宮アルディージャの協力のもと、ファミリーサッカースクールを開催しました。



本学伝統の学生がプロデュースする結婚式が執り行われました。

第21回 西武文理大学学園祭 HOSPIVAL

和—Bunri University of Hospitality 20th Anniversary—
2019.10.19(土)~20(日)



実行委員は、おそろいのパーカーで大活躍！



看護学部の学生による看護体験を実施。



女子ラクロス部の模擬店では大人気のチョコスを販売。

これからの大学の未来に向けて



学長 小尾 敏夫

私が学長に就任して2年弱が過ぎました。昨年は大学創立20周年という記念すべき年でした。創立記念式典では、学生の皆さんや多数の方々にご臨席を賜りましたことを、改めて感謝申し上げます。

その節目の年に、将来にわたり本学が「新しい知の創造」並びに「時代の要請に応える人材育成」の拠点であり続けるため、新しい中長期ビジョン・計画を、目下、策定しているところです。当面の課題を克服し、今後10年間の有るべき方向性について、全教職員が当事者意識をもって真剣に協議しております。

学生の皆さんとお話しをするたびに、夢や目標に向かって明るく歩んでいる姿に感心していました。でも、もしかしたら目標が見つからない、達成できないかもしれないと未来に迷っている方もいると思います。私は、本学を学生の皆さんが夢や目標を見つけ、そしてそれに向かって思い切り努力できる学びの場にしたと考えています。

す。ホスピタリティを学びに来た学生の皆さんに、ホスピタリティをお見せできる大学でありたい。そのためには、教育の更なる深化と、施設の充実など満足度を高めていかなければなりません。また、近隣の大学や国外の大学など様々な機関との連携を進めていき、研究協力を進めていきたいとも考えます。

私は長年、AIやICT分野について研究して参りました。これらを活用した教育の推進も必要不可欠であると考えております。これからは、AIに対する高い知識を持った人材が求められています。それは、産業界や医療福祉分野においても例外ではありません。

さらには、この大学がある狭山市や川越市での地域連携や、地域の課題にも取り組んでいく所存です。

これらの様々な課題を解決するためには、前述の通り、ビジョンと共に具体的な計画が必要でこちらも現在、検討しています。今年の春には、皆さまにお示しができるかと思えます。

現在、大学をはじめとする教育機関は少子化に端を発する氷河期を迎えており、最高学府としてより特色のある大学運営が求められています。そのためには、教職員はもちろん、卒業生や関係者の皆さまにも積極的に参加していただくことが重要と考えています。

さらりと光る魅力ある大学づくりを進めて参りますので、ぜひ大学の未来づくりにお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

「10月19日(土)学園祭にて 創立20周年記念シンポジウムを開催しました」



学園祭 HOSPIVAL (ホスピバル)にて、シンポジウム「大学と狭山の未来を語る」若者が切り開く未来—その可能性—を開催しました。

はじめに、地元狭山市の小谷野市長の基調講演が行われ、ご自身の学生時代の体験などをとお話くださり、学生や狭山市の未来について愛に溢れたメッセージをいただきました。参加者も熱心に聞き入っていました。



その後、学長がコーディネーターを務め、狭山市長、サービス経営学部・看護学部両学部長、大学同窓会会長と学生代表(2名)をパネリストに迎え、それぞれの視点からこれからの未来像について意見を述べてもらいました。



基調講演 狭山市長 小谷野 剛氏
シンポジウム パネリスト
狭山市長 小谷野 剛氏
サービス経営学部長 甘泉 瑞応
看護学部長 小寺 栄子
大学同窓会 会長 佐藤 大蔵(サービス経営学部1期生)
学友会 会長 海老原 優花(看護学部3年)
学園祭実行委員会 委員長 内野 隆輝(サービス経営学部2年)
コーディネーター 学長 小尾 敏夫



左から 小寺看護学部長、小谷野狭山市長、海老原学友会会長、小尾学長、内野学園祭実行委員長、佐藤同窓会長、甘泉サービス経営学部長。

サービス経営学部から ～これからの20年を考える～

サービス経営学部の 「これからの20年を考える」

サービス経営学部 学部長 甘泉 瑞成

サービス経営学部では、今後20年の将来像を見据えた計画の策定を行なっています。その計画では、社会変化を踏まえ、学生の資質の変化、社会のグローバル化、地域社会との連携強化など多様化する社会の要請に応じていくことが大切だと思っています。そして、学園の「建学の精神」や「ミッション」を果たすべく、本学部が持つ「強み」と「特色」を活かした事業を発展的に展開して行きたいと考えています。

教育活動においては、本学の特色であるホスピタリティ教育を柱に、AI革命新時代など社会変革を先取りする「多様で柔軟な教育プログラム」を念頭に、おいたカリキュラム再編、学部再編に取り組んでまいります。また、グローバル化への対応として、日本人学生の留学の強化とそれに向けた国際交流活動の推進、そして外国人留学生の学修環境の整備と教育プログラム

の刷新を図ってまいります。さらに、地域の社会人・高齢者対象の履修プログラムや公開講座の充実なども行なってまいります。研究活動では、独自のホスピタリティ研究を社会に還元できる研究機関となるべく組織体制の整備を図り、その組織体制のもと外部との共同研究の強化、社会的課題や産業界のニーズに対応する学際研究を推進してまいります。社会連携活動においては、ホスピタリティとサービス経営分野に特化した教育を活かし、起業家の育成とニュービジネスの創造を支援するプログラムを作成し、地域活性化を目指して推進してまいります。このように、サービス経営学部では、サービス業界において活躍する人材を育成するにふさわしい教育研究環境を整備するとともに、受験生から選ばれる大学、社会から信頼される大学を目指すべくさらなる改革を推進してまいります。

サービス経営学科の未来 「アジアNo.1を目指す」

サービス経営学部 サービス経営学科長 服部 裕美子

西武文理大学が開学して20年。大学の目玉は「サービス経営」という分野を日本で最初に創ることにあつた。ホスピタリティ精神を基盤として、「サービス」を学問の対象に据えた先見性は、衆目の一致するところである。大学創設の際、理事長が目指した理想像は、米国のコーネル大学であったという。

言わずもがな、コーネル大学はアイビリーグの名門であり、ホスピタリティ学を標榜した世界で最初の大学である。最新の世界大学ランキング Best Hospitality and Hotel Management Schools in The World 2019 によれば、その Top50 に北米の大学が28校（コーネル大学は2位）、スイス12校（世界1位は Ecole hoteliere de Lausanne）、その他ヨーロッパとオセアニアが4校。と圧倒的に欧米の大学が列挙される中、インド3校、アラブ首長国連合2校、中国1校と、アジア勢が徐々に躍進し学生の人気を得ている現実には、ある種の焦りを感じるのには私だけであろうか。それらアジア勢の歴史はまだ浅い。

ホスピタリティ学は、欧米ではメジャーな分野と認識されており、知名度も伴っているのは日本との決定的な違いではあるものの、日本でもサービスやホスピタリティへの関心や研究、そしてその重要性への認識は加速度的に高まってきている。更には日本のサービスやホスピタリティに対する評価も極めて高く、アジアからの留学生は声を揃えて「日本のサービス」を学ぶために留学した」と言う現実もある。

全ての企業はサービス業になるとも言われている。新たな時代を切り拓く人材育成を見据え「サービス経営学科」のプレゼンスが高まってきていると言えるだろう。もう一度初心に帰り、コーネル大学を目指そう。求められる大学になろう。近い将来「Hospitality (or Service) Management」の分野で、西武文理大学サービス経営学科がアジアNo.1 にならなくては…と、20周年の節目に改めて思うところである。

看護学部をささえて下さる方々と共に ～これまでの10年～

看護学部開設 10周年の節目を迎えて

看護学部 学部長 小寺 栄子

看護学部は2009年4月に、本学の2番目の学部として、また埼玉県において3番目の看護学士課程として誕生し、2019年度に11年目を迎えました。これまでに562名の卒業生が、関東地方を中心とした保健医療の場に羽ばたき、看護師、保健師として、それぞれが看護専門職としてのキャリアを積み重ねています。

学部開設準備の段階から今日に至るまで、看護学部が順調に歩んでこられたのは、学内の教職員の皆様の弛まぬ努力があったことはもちろんのこと、実習施設の皆様をはじめ、地域住民の皆様、そして常日頃から学園生活を支援して下さっている関係者の皆様の温かいご支援の賜物と深く御礼申し上げます。

本学はホスピタリティ教育を基盤として看護学を学ぶ我国唯一の学部として開設され、以来、看護とホスピタリティの関連性と意義を追究しながら、日々の教育活動を通してホスピタリティ力の育成に努めてきました。その結果、教職員と学生が互いに学び合いながら、西武文理大学独自のホスピタリティ文化が形づくられていることを実感できるとなりました。開学10周年の節目に当たり、今後とも、在学生、卒業生そして教職員が西武文理の看護学教育に対するプライドを育て、更に発展させることにより、地域の人々からも信頼される存在価値のある看護学部として発展していくことを祈願いたします。

ホスピタリティと出会いの中で

看護学部 学科長 大賀 明子

元号が令和へと新たに変わった年に、看護学部は11年目を迎え、あらためて多くの方々を支えられてきたことを実感しています。学部開設時の語り継がれているエピソードに、認可時期の変更により、1期生の入学試験が遅くなってしまったことがあります。入学する大学を早く決めたい受験生にとって、不安が募り、他校に決めたい気持ちもよぎったはずなのに、「大丈夫です。看護学部ができてのを待っています」と看護学部準備室を信じて、待ってくれていた受験生と保護者の方々が多くいたと伺いました。

また、看護学部で重要な学びに看護学実習があります。準備室のメンバーは、学部開設にあたり狭山市は、もちろん、近隣の病院や施設にご挨拶を重ね、実習施設を開拓してくれました。

大学や高校・中学のご縁のもとに、あるいは狭山の地味で、多くの施設が受け入れを快諾してくださいました。大学課程の実習生の受け入れは初めてだからと、多くの時間を打ち合わせに割いていただき、看護学実習が開始しました。10年間のうちに入れ替わった施設もありますが、10年変わらず看護学部の学びを支えてくださっている施設も数多く、そこでは入学を待っていてくれた卒業生の働く姿も見られるようになっていきます。

このような学生や実習施設との出会いは、偶然ではなく、あたたかい思いやりと真心つまりホスピタリティがあつたからこそ、得ることができたのではないかと考えています。

看護学部を支援下さった 方々からのメッセージ

事務局長 新田 隆

看護学部が創設されて10周年を迎えました。私は着任してまだ2年余りですが、先生方の大変なご苦労のおかげで現在のステイタスが築かれてきたことを忘れてはならないと思っています。今でも毎日早朝から深夜までどこかの研究室に灯りがともっています。この研究室に灯りがともっています。が、学生指導と社会貢献・研究活動を両立されている多忙なお姿には本当に頭が下がる思いです。私は学生との日常的な接点は多くはありませんが、そのような先生方の思いが伝わるのでしょうか、時として学生の頑張りや心を動かされることがあります。宣誓式での工夫を凝らした誓いの言葉や思わず貫い泣きしそうになるくらい厳しくもあたたかさに充ちた先輩講話、実習ユニフォームで参加する地域活動での誇りを持った振舞いなど、看護学部の教育の素晴らしさをいろいろな方に自慢させてもらっています。

事務局としても、公私にわたり本当に親身になって指導にあたっておられる先生方と、4年間で看護師としての人格形成とともに国家試験という大きなハードルを乗り越えなければならぬ学生の皆さんを引き続き応援していきたいと思っています。

看護教学課 石田 直紀

1999年にサービスクラス経営学部という世に先駆けした単科大学として開学した西武文理大学が、新しい学部を作る。それが全く畑違いと思われる看護学部と知ったのが2007年。私は2年間、設置準備を担当しました。その後、2009年の4月に看護学部の第1期生を迎えることが出来ました。文系学部の学生とは雰囲気の違いがキャンパスの中で異彩を放っていたのを思い出します。

畑違いとの思いがあった看護学も、設置準備の2年間で深く学び、ホスピタリティの土台は同じだと感じながら、それでも尚、看護学部生を異彩と感じたのは、入学時から明らか目標を持ったその姿だと思っています。今は、1期生以来900名を超える学生を迎え、異彩と感じた姿は、西武文理大学の欠かすことの出来ない彩りとなり、ホスピタリティの西武文理を示す看護師像を具現化してくれています。

その中で、看護教学事務が示せることは何か？ 学生を大切に思う4年間とすること。大切にされた記憶こそが、人を大切に出来る人を育てる。その思いで10年を過ごしてきました。この思いは、今後もこの看護教学事務に受け継がれていくと思います。素晴らしい10年でした。更なる飛躍の10年も、看護学を学ぶ場をサポートしたいと考えています。

就職サービスクラス 斉藤 光洋

昨年度から、前部長から引き継ぎ、看護学部の学生のキャリア支援に関わってきました。私が一番感じたのは、看護学部の学生の仕事に対する考えが素晴らしいことです。多くの学生は卒業後、看護師としてスタートして行きます。私は、キャリアアカウンティングや、面接指導を通して、看護学部の学生たちの看護に対する思い、仕事に対する思いを聞いてきました。看護師になろうとしたきっかけは様々ですが、共通しているのが「誰かのためになる仕事をした」ということ。友人との出来事、家族との話、自分のつらかったことなど、これまで自分の経験してきた中で、誰かのためになりたい、誰かを手助けしたい、誰かを笑顔にしたい、そんな気持ちやそれを飛び切りの素敵な顔で話をしてくれます。そのような学生たちと日々かわかることができていることに、毎日感謝し、毎日100%の力でサポートをしています。しかし、就職試験がうまく行かず、就職課で涙する学生もおります。大丈夫です、学生一人ひとりの人に対するあたたかい心があれば、必ず素晴らしい看護師、保健師として成長できることと信じております。これからの全力で、学生に負けない気持ちを持ってサポートしてまいります。

学生相談室 竹内 ゆり

学生相談室では学生が充実した時間を過ごせるように、困りごとの相談に乗っています。講義を受ける際の困りごと、自分のこと、人間関係、進路、そしてメンタルヘルスなど相談は様々です。さまざまな環境の中で大学生活をいかに有意義に送るかを一緒に考え、学生の相談にも乗っています。

大学生の時期というのはその先に社会に出るといふ道筋があり、どのように自立した社会人になるかを考える時期です。看護師になるという明確な目標がある看護学部の学生は、何をしたいのかわからないという迷いは少ないですが、自分はこのままこの道でやっていくのかという迷いは生じやすいようです。悩みながら折り合いをつけることに伴走していく卒業時にすっきりした顔で旅立つ姿が見られ、成長する力は誰にでもあふれているのだと実感させられます。学生の皆さんには、悩むのは当たり前でおかしなことではないこと、失敗してもやり直しはできるということを伝えたいと常に思っています。

食堂 白井 美千代



皆さんに喜んでもらうため、メンバー全員で頑張っています。「おいしいよ」「待ってるよ」「まだ」と声をかけてくれるのがとても嬉しくて、私たちの「パワーの源」になっています！卒業生が時どき顔を見せられるのもとても嬉しく、将来「おいしかった」「穏やかな」記憶として思い出して貰えるといいなと思っています。皆さんの存在が私の励みです！皆さんのためにこれからも頑張ります！

売店 塩野谷 公子



私もここに来て4年目なので、特に今の4年生には同期のような気持ちを持っています。私はこの学生さんが大好きです。素直で明るくて元気がよくて。だから、少しでも皆さんの栄養になる物をと心がけています！皆さんのために、ずっとここで働きたいです。買物物がなくても顔を見せてくださいね。待っています！

保健室 佐久間 みや子



学生の皆さんは、私にとって孫のようにかわいい存在です。勉強が大切なのは分かるけれど、あまり頑張りすぎないで、健康な体あってこそ。あなただということをお忘れなくください。これからも皆さんが未来に向けて頑張れるよう一杯応援したいと思っています。

健康ひろば代表 長谷部 源一

「健康ひろば」は柏原地域の高齢者を対象に健康づくり、介護予防を目的に活動しています。狭山市長寿健康部から西武文理大学看護学部を紹介され、先生や学生の皆様の実習にお越しいただくようになって10年になります。実習は血圧測定から始まり、皆でグーパー運動や指折り体操、童謡を歌いながらの手遊びや、ジャンケンゲームではお互いに肩をもみあうなどスキップを回り、楽しくお話しすることができました。また、学生の皆様によるミニ講話では熱中症対策やお風呂の入浴の注意、風邪予防法など、生活に役立つ情報を聞くことができ、有難く思っています。



手術や化学療法が発達した今日でも大切な治療法の一つに「言葉による癒し」が挙げられると思います。「聴く」という字には耳・目・心が入っています。ここで触れ合うことができた皆さんが看護の場で活躍されることを心より願っています。頑張ってください。

就職懇談会



第16回西武文理大学就職懇談会 113社の企業の皆様にご参加いただきました。

令和元年9月13日、アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて、西武文理大学就職懇談会を開催いたしました。皆様からのご支援のもと、今年で16回目の開催となり、今年も多くの企業の皆様にお集まりいただきました。

第1部の就職研修会では、(西武文理大学長)小尾敏夫の開会挨拶で始まり、株式会社学情 学校企画部 マネージャー 東修三様より、『新卒採用環境について』(2020年卒の現状と2021年卒採用の展望)について講演をいただきました。実際に行われている採用活動の事例のほか、2020年の採用活動における課題等もお話いただき、ご参加の採用担当者様からは、「成功事例や最近の学生の特徴について聞くことができ、参考になった」、「インターンシップについて再検討したい」などの感想が寄せられました。

また、後半は、サービス経営学部の学生から福祉事務所での実習報告、そして

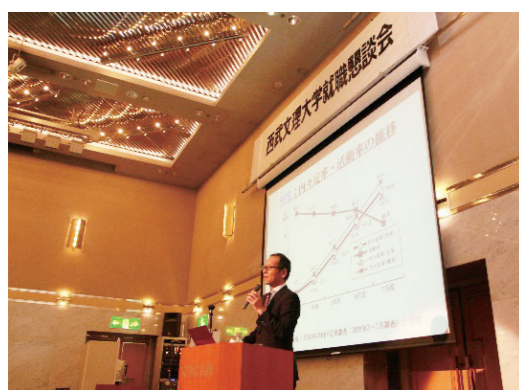


小尾敏夫西武文理大学長からの開会挨拶。

大学での学びと就職先での活躍について 同学部の卒業生から発表がございました。在学生、卒業生からご参加の企業の皆様へ、本学のホスピタリティ教育の学びについて知っていただくことができました。

第2部の意見交換会では、ご参加の企業の皆様と本学の教職員が、採用、本学の学生や教育内容、そして本学の卒業生の活躍などについての情報交換を行いました。また、企業様同士の情報交換も活発に行われました。ご出席の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。

本学は、おかげさまで開学20周年を迎えることができました。そして、今後も社会で活躍できる人材の育成に、より一層力を入れてまいります。引き続き、本学へのご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



株式会社学情 学校企画部 マネージャー 東修三様からのご講演。

企業の方々に 本学の印象についてお伺いしました

渋谷エクセルホテル東急

管理マネージャー 松村 法義様

① 御校からは、今年度(2019年度)も1名の卒業生を採用させていただきました。入社から5ヶ月が経過し、日本料理レストランのサービスを担当していただいております。同年代の仲間と切磋琢磨しながら、スキルの向上が顕著に見られます。

② 未経験の事への積極的な挑戦の姿勢や仲間同士のコミュニケーション力の高さが御校の教育の良いところだと認識しております。

③ サービス業に限らず、学生さんにはコミュニケーション力を高めていただきたいです。また、ホテル業は、色々な業種(レストラン業・宿泊業)を経験していただける業種ですので、積極的に好奇心を持っていただきたく思います。



株式会社 目黒雅叙園

人材開発部 人材グループ採用・教育チーム 梅原 理早様

① 皆さん仕事に真面目に取り組んでいます。小さい事でも、どうしてそうなのか、きちんと自分で理解し、覚えるように努力されています。また、お仕事もしっかりこなしています。個々の基本的な性格もあるかと思いますが、基本的に相手を思いやる気持ち、相手が考えることを先回りして捉える力が高いと考えます。

② 1年次でのインターンで体験したこと・感じたことを学校に戻り理解し学び、それを3年次インターンシップにて実践・理解を深げることができます。また清潔感があり礼儀正しい印象です。

③ インターン先企業では分からないことも多く、尻込みする学生が多いですが、しっかりと挨拶をしてくださり、笑顔も素敵です。やはり第一印象は大切ですので。

主にインターン生とふれ合っていることで、もつと積極的に質問や自分の考えを伝えてください。企業側は積極的な学生の方を強く覚えていきます。積極性は就職活動でも有利になると思っています。



埼玉りそな銀行

人材サービス部 グループリーダー 石井康之様

① 御校の卒業生は、現在10名の卒業生がカスタマーサービスフィロソフィーで活躍しています。それぞれ大学で培ってきたホスピタリティ精神を活かして、窓口での接客やローカウンターでの運用、相統の相談等、支店において、お客様との接点が最も多い部署で活躍しています。

② サービス経営学部ということで、経営面だけでなくサービス産業のプロフェッショナルを育成しているところが良いと感じております。

③ りそなグループは、お客様の喜びという想いのもと、地域のお客様に最も信頼される金融グループを目指しています。これからはAIの時代と言われておりますが、だからこそ人を大事にするという御校の精神は金融サービス業の弊社ともマッチしております。また、地域貢献を積極的に行っているところは、我々も地域に根付く金融機関として大いに共感できる点だと認識しております。

④ 変化の激しい時代になっている昨今、学生さんには様々なことにチャレンジし、創造的な思考力やコミュニケーション力、そして人に寄り添い、向き合っている力を高めていただきたいと思います。



実習先からのメッセージ



◆西武文理大学看護学部と歩んできた日々を振り返って

公立福生病院 看護部長 一柳 景子様
教育担当 江口 裕美子様

このたびは創立20周年、看護学部開設10周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。当院は、東京都西多摩地区に位置します地域の急性期病院です。看護学部開設当時から、主に、基礎的な実習を受け入れさせていただいております。受け入れから早10年となりますが、職員ともども、看護学部の先生方の熱心な指導や、学生さんの気づき、思考には、つねに感心させられております。特に貴学が大切にされているホスピタリティ精神を学ぶ、「看護とホスピタリティ」は、学生さんたちが初めて病院という環境で行う実習です。学生さんが、大変緊張しながら実習に臨まれている中で、看護師の働く姿をじっくり観察し、さまざまな場面でホスピタリティを発見し、

学びに活かしている姿を私たちは目にしております。そのホスピタリティ精神を礎として成長された方々が社会人となり、当院の仲間として毎年活躍していることに心強く感じております。私たちが「地域の皆さんに、信頼され親しまれる病院」を目指しております。今後も貴学とともに切磋琢磨していきたいと思っております。長きにわたり看護専門職の育成に貢献されてきた貴学の功績を讃えるとともに、今後ますますのご発展を職員一同祈念しております。



◆看護学生の皆さんは、すでに私たちが看護師の仲間です

医療生協さいたま生活協同組合 ふじみ野ケアセンター 埼玉協同病院D5回復期リハビリテーション病棟 地域連携看護科 看護長 福田 友美様
看護長 江畑 直子様
所長 渡辺 恵様



私たちが学生さんに伝えたいと思っているのは、なにより看護の魅力です。それは病院に限らず、地域での看護についても同様です。私たちが大事にしている看護を、学生さんにも受け取ってもらえることを期待しています。学生さんが病棟に来る日数は決して多くはないのですが、患者さんが「もう来ないの？」と寂しそうに言われることがあります。学生に声をかけられてリハビリに意欲を見せる患者さんもうらっしゃいますし、認知症を患う方が、学生とのかかわりによって認知機能の改善と見えるほど元気になられたこともありま

私たちが看護師を看護師として育ててくれるのは患者さんだと思います。実際、文理の学生さんはコミュニケーション能力を活かして、うまく患者さんとの関係性を築くことができていると思います。患者さんの個性をとらえて看護を展開している学生さんには、若い感性がキラリと輝いて見えることがあ

育てたいと思っています。私たちの看護を次の世代に渡していきけるような看護師になって欲しいと願っています。きっと素敵な看護師になれる、そんな可能性を私たちは皆さんに感じています。

地域貢献プロジェクト 狭山市

0032 TOKYO FILM 2019

西武文理大学 サヤマ de シネマ vol.3



■サヤシネVol.3を終えて

サービス経営学部 サービス経営学科 4年 内山 百花さん

3年前から始まったサヤマdeシネマ。3回目の今年は初代実行委員長の洲崎先輩の想いを引き継いで狭山の方によりよい上映会を開催することができたのか、始まる前から不安と期待でいっぱいでした。ハガキとWEBで募集を行ったのですが、ハガキにはたくさんのお客様からあたたかいメッセージが添えられ、見るたびにとても嬉しく心があたまりました。駅前でチラシ配りをしている際も、ご苦勞様と声をかけてくださる方や、毎年楽しみにしてくださっている狭山の方がいらっしゃることを感じ、準備の段階から本当にたくさんの方々のあたたかさにふれることができました。



総勢120名の仲間と一緒に準備を進める中で、普段教室では学べないことをたくさん学ぶことができました。



例えば、自分を見つめ直し、人とのかわり方を考えなおす機会や社会人になる前に経験しておいて良かったと思えること、たくさんあり、社会

人になる前の最後の1年でひとまわりもふたまわりも人間的に成長でき、とてもいい経験となりました。

2日間で東京国際映画祭で上映された作品の中から学生達で話し合い、特に想いの強かった「モリにいる場所」「ニゼと光のアトリエ」「きみの鳥はうたえる」「負け犬の美学」の4作品を上映させて頂き、本番の1日目の「モリにいる場所」の上映ではサヤマdeシネマ始まって以来初めて、狭山市民会館の小ホールを満員にすることができました。

当日は各部署の仕事を一生懸命にしてくれている仲間の姿や、Vol.1から足を運んでくださっているお客様、映画を見て笑顔で帰っていかれるお客様、学生に対して何度もありがとうと伝えて下さるお客様、たくさんの方の笑顔や想いふれて私はやっぱりイベントという場所が好きだと実感することができました。

このサヤマdeシネマを通して学べたことは私の宝物になりました。この経験を生かして春から社会に出て活躍していきたいと思っています。



教員による
レギュラーコラム

普通や自然という感覚

看護学部 成人看護学教授 井原 緑

西武文理大学が20周年、看護学部が10周年を迎え、何か節目にあるように感じています。ニュースを見ても、世の中はこれまでの考えから、大きく変わろうとしています。私が本学に就任するにあたり、面白いかもしれないところがあります。サービス経営学部と看護学部という珍しい組み合わせの大学だということ、両学部の根底に流れるものには共通点があり、むしろこの組み合わせで、より普通感覚のある裾野の広い人が育つのではないかと思ひ、興味をもちました。医療系総合大学に務めていた頃は、つねに医療者の感覚が中心にあり、それでよいと思っていました。よく考えてみると、看護も特別ではなく、たくさんある世の中の人の営み

体験授業の工夫と思い

看護学部 公衆衛生看護学 講師 伊藤 千春

今年7月のオープンキャンパスで「見えない塩分の見える体験」というテーマで、体験授業を行いました。日常生活の中で塩分をどれだけ摂っているのかを意識することは、難しいものです。まず、参加者に食品の塩分量を少ない順からホワイトボードに貼ってもらい、隠れている塩分について知ってもらいました。最後に塩分量が異なる2種類の味噌汁を味見し、汁の色を確認後、試験紙を浸し色の変化から塩分量の違いを体験してもらいました。参加された皆さんは、味噌汁に浸したテストテープの変化を、じっと見守っていました。事前にどちらが減塩味噌汁であるかを伝えていませんでしたが、濃い色の味噌汁が減塩味噌汁であった驚きや味覚と一致していて納得した等の感想が聞かれました。特に親御さんが興味を示され、「家でも測定したい」と希望されました。短い時間でしたが講義に体験が加わり、参加者の記憶に減塩の意識が刻まれたのではないかと思います。

産官学連携プロジェクト

長野県 飯山市 × 西武文理大学

サービス経営学部 健康福祉マネジメント学科長 影山 優子



今日は、この場を借りて、本学と飯山市の

取り組みについてご紹介させていただきます。2019年6月14日、本学は長野県飯山市、一般社団法人信州いやま観光局、株式会社フジすまいるファーム飯山の四者による包括連携協定を締結しました。この協定締結が実現したきっかけは、飯山市が進めている農福連携事業の取り組みです。「農福連携」とは、障害をもつ人などが農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいや創出し、社会参画を促す取り組みです。飯山市は、2016年に障害者就業継続支援施設A型事業所である株式会社フジすまいるファームを市内に誘致し、現在は千曲川河川敷やなべくら高原国営農地などで、障害をもつ方と支援員が農業指導員のもと、信州野菜を栽培し全国に出荷しています。

昨年11月にこの農福連携の取り組みを体験するツアーを一般社団法人信州いやま観光局が企画し、試行的なモニターツアーに本学学生4名と教員が参加し、四者が好感触を得たことが、基本協定締結のきっかけになりました。協定のもと、四者は農福連携事業や観光、保健医療福祉の分野等を通じた人材育成や地域振興で協力していくこ

とになります。

そして連携協定後初の事業として、今年9月に二度目となる飯山市でのモニターツアーが実施されました。今回はツアーの企画段階から学生が携わり、飯山市近隣地域での参加者の募集と事前説明等を担当しました。その結果、四組の障害のある当事者とその家族が参加されることになり、4名の学生とともに大宮駅から北陸新幹線で飯山市に向けて出発しました。

ツアー初日はなべくら高原での枝豆収穫と作物の選定作業体験、二日目はブナ林の自然の中で森林セラピーを体験するという内容でした。サポートスタッフの学生は、それぞれが担当する参加者に付き添いながらツアーを安心して楽しんでもらう、という役割を担いました。

本学学生がかかわる具体的な事業として、2月5日から3日間ウィンターシーズンに飯山市にスキー等に來られる外国人旅行者へのヒアリング調査を行いました。今後も四者が協力しながら様々な事業に取り組んでいく予定です。これからの動きにもどうぞ注目ください。



卒業生 だより

vol.10

どんな患者さんにも
ホスピタリティをもった
看護を提供したい

東京医科大学病院
甲狀腺外科、消化器内科外科 短期病棟
入職3年目 須貝 琴音さん
(第5期生/2017年3月卒業)

私の働く東京医科大学病院は7月1日に新病院が開院し新たな環境になりました。新病院から甲狀腺外科が加わり、混合病棟として外科・内科関係なく患者さんの看護を行っていきます。さまざまな診療科の患者さんがいるため、勉強の日々ですが、大学で学んだホスピタリティを大切にして患者さんに寄り添った看護を提供できるように心がけています。また今年からはプリセプターとして新人看護師さんの教育にも携わっています。初めてのことが多く壁にぶつかることもありますが、そんなときは大学に遊びに行き、先生方に相談に乗っていただくことで壁を乗り越えることができています。卒業してもあたたかく迎えてくださる文理の先生方のようにいつでも後輩の味方になれることを目指しています。



方でいれる
ような看護
師でもあり
たいと思っ
ます。

日々、患者様にどんな
看護ができるのかを考えて

公立福生病院 5東棟
入職3年目 藤田 菜菜さん
(第5期生/2017年3月卒業)



私は西武文理大学の
実習病院でもある公立
福生病院へ入職し現在
3年目の看護師として働いています。

私が勤務する病棟は呼吸器内科、消化器内科、眼科、口腔外科の混合病棟です。急性期、慢性期、ターミナル期と入院している患者様の疾患はさまざまであり多くの知識や技術を必要としています。学生の頃は自分が看護師という責任のある仕事につけるのか、不安ばかりでしたが、病棟の先輩や同期に恵まれ、あたたかい雰囲気の中で働かせていただいています。看護師は人の生命と向き合う責任のある仕事であり、時には自身が落ち込んだり悩んだりすることもありますが、それでも、今の自分にどんな看護ができるのかを考えたうえで、訴えを聞き、患者様とのかわりを一番に働く日々は楽しく、とてもやりがいがあります。学生期間は勉強や実習、辛いこともたくさんあると思いますが、看護はとても楽しく素敵な職業だと思います。大学4年生はこれから国家試験など忙しい日々が続きますが頑張ってください。

これからの就職活動への取り組み

これから本格的に就職活動がスタートする3年生に今後の取り組みについてインタビューしました!

在学生に
インタビュー

サービス経営学部
サービス経営科3年生
編引 佳乃さん

私は将来、お客様とのかかわりの中で笑顔を作り出せる職業に就きたいと考えています。そのため、さまざまなインターンシップに3年生の夏から積極的に参加するようにしました。参加するにあたってエントリーシートや面接の書き方や面接の受け方など、知らないことだらけでとても不安でした。しかし、キャリアサポートセンターでエントリーシートの細かい書き方のレクチャーや添削を行っていたり、面接で過去に先輩がどのような質問を受けているかなどについて親身になって相談に乗ってくれたので、安心してインターンシップに臨むことができました。

実際のインターンシップでは参加したからこそ知り得た事がたくさんあり、良い刺激を受け、もっと頑張ろう、と前向きな気持ちで取り組み続けています。今後も自分の未来を切り開いていくために、SPIやさまざまな資格取得に励むとともに残り少ない学生生活を充実した日々にして送っていきたいです!



2020年 来て、見て、ナットク!!

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス日程

申込不要・入退場自由

3/28 土 | 7/12 日 | 8/29 土 | 10/ 4 日

5/24 日 | 7/19 日 | 8/30 日 | 11/15 日

6/ 7 日 | 8/10 月・祝 | 9/21 月・祝

各回11:00~15:00
学食無料体験あり
(スペシャルランチ)

※11/14(土)、11/15(日)は西武文理大学学園祭HOSPIVALも開催されます。

オープンキャンパスプログラム

★全体説明会

サービス経営学部、看護学部ともに学部・学科の概要や入試の内容などについてご説明します。

全体説明会



★体験授業

サービス経営学部ならではの授業を開講。一足先に大学の授業を体験してみよう!

体験授業



★個別相談

教職員が入試や授業などについて何でも相談にのります。

個別相談



★学食体験&在学生と何でも話そう

スペシャルランチを楽しみながら、学生スタッフにキャンパスライフについて聞いてみよう!

学食体験&在学生



★看護体験

「赤ちゃん抱っこ」や「血圧測定」などの看護体験ができます。

看護体験



★インフォメーション

お困りごとがありましたらインフォメーションにお越し下さい。

インフォメーション



BUNRI'S 西武文理大学

サービス経営学部 | サービス経営学科
健康福祉マネジメント学科

看護学部 | 看護学科



LINE@



スマホサイト